

西地区にワクチン接種会場の速やかな設置を

【西地区にコロナワクチン接種会場がない！】

だて) コロナワクチン接種が国分寺市でもスタートしたが、集団接種会場と個別接種会場の位置は市の中央から東部にかけて偏っており、西部においては接種を受けられる会場がほぼない。命にかかわるワクチン接種であり、市内に明らかに受けに行きやすい地域とそうでない地域があるのは大きな問題である。西地区の公共施設や学校施設を活用し、速やかに集団接種会場を設置することを求める。市) 接種を担う医師や看護師の確保が難しい状況があり、現時点での拡大は難しい。だて) 立川市は市境地域の学校体育館を使って

集団接種を行っている。また、小金井市は医療機関が少ない地域からバスで集団接種会場まで送迎している。当市においても西地区の住民のために努力している姿を見せてもらいたい。

【パルスオキシメーターの貸与を】

だて) 血中酸素濃度を測定するパルスオキシメーターは急変を防ぐためにも効果的な機器である。東京都の事業でコロナ在宅療養者への貸与が行われているが、数に限りがあり、希望者全員にいきわたっているかはわからない。国分寺市でも一定数用意し、都から貸与されない方への対応をできるようにすべきと考える。市) 市では現有2台。今後10台追加の予定が

立憲・市民フォーラム
だて 淳一郎



ある。貸与については都の動向を注視するとともに医師会の意見も聞いていきたい。

【重症心身障がい児・者と家族への支援拡充を】だて) 重度の知的障がいと身体障がいをお持ちの重症心身障がいはサポートする施設も少なく、家族の介護負担が非常に大きい。市内通所施設への支援拡充とともに、他市でも行われているように家族の休息確保に向け、看護師を派遣する、在宅レスパイト事業を当市でも導入すべき。市) 他自治体の情報収集と当事者家族等の状況把握を様々な場で引き続き行っていきたい。

子育て支援充実と「心のバリアフリー」推進を

【子どもの医療費助成制度のさらなる拡充を】

木島) 子育て支援の重要施策の義務教育就学児医療費助成制度は現在、小学校3年生までの所得制限撤廃の助成。これまでの市の評価は？市) 保護者の経済的負担の軽減に寄与している。木島) さらに子育てがしやすいまちを目指して所得制限撤廃の対象学年の拡大に向けて取組を。市) 他市の動向を見ながら検討したい。

【バリアフリー基本構想について】

木島) 重点整備地区とその範囲は？市) 国分寺駅南北地域を中心に新庁舎建設予定地をつなぐ地域を現在想定している。木島) 構想策定を契機に鉄道事業者と連携して

JR国分寺駅のホームドア整備の推進を。

市) JRと連携しつつ、今後の計画に位置づけるよう設置に向け市の要望を伝える。

木島) 西国分寺駅と恋ヶ窪駅周辺は？

市) まだ具体化はできないが、今後の達成状況を踏まえ重点整備地区の拡大を図っていきたい。

木島) 「心のバリアフリー」の取組が重要。

市) 市として差別をなくす宣言を行うことを踏まえ、心のバリアフリーを位置づけ実施する。

【市政情報の発信について】

木島) コロナ禍でのワクチン接種情報等について動画を使ったわかりやすい広報も必要では？市) 紙媒体に加え効果的な広報を検討したい。

公明党
木島 たかし



木島) 若者から高齢者まで利用者の多いLINEを活用した市政情報発信も必要では？

市) 国の動向を見つつ導入に向け検討したい。

【幼児教育・保育の無償化について】

木島) 幼児教育・保育の無償化の対象とならない施設への支援充実が公平性の観点から重要。国・都と連携して市の関係補助金の拡充を。

市) 実施に向け準備を進めていく。

【学校の働き方改革を踏まえた部活動改革】

将来を見据え、子どもたちのために持続可能な部活動のあり方について検討を求めました。

市民ニーズへの対応と将来の布石の両立を！

【ワクチン接種・コールセンター対応について】

丸山) 新型コロナウイルスワクチン接種にかかるコールセンターについて8回線では対応が難しいのではないかと開始前に指摘・質問した。運用開始後の状況とその後の市の対応を問う。健康部長) 指摘の通り予約が集中、繋がりにくい状況が生じた。そのため急遽時間延長や臨時日設定等の対応をした。また5月以降は回線・人員の増強を図り16回線での運用をスタート、6月以降は22回線での運用を予定している。丸山) 改善に向け早急に対応したことは評価。その上で、今後も同様事業があり得る。今回の経験を活かしより精緻な積算を求める。

【学童保育所の高学年児童受入れについて】

丸山) 高学年受入れは財政的観点と低学年の狭隘状況解消という優先課題を踏まえて責任ある対応を進めるべき。現状民設民営園では定員に空きがある。ここを現場としてまず試行実験から進めて頂き、高学年にも全入方式を適用するか等のルール設定も検討頂きたいがどうか。

子ども家庭部長) 民設民営園は定員に対しまだ余裕がある施設がある。高学年の受入れ検討を進める際には、低学年の狭隘状況解消を優先課題として制度設計を考えて参りたい。

【デジタル化対応について】

丸山) 当市は現状「情報システム最適化計画」

自由民主党市議団
丸山 哲平



に基づきシステム・ハード面では最適化を進めている。だが行政サービスをどこまでデジタル化するのか、デジタル人材をどう育成するのかな等の総合的な計画はないと認識。早急にそうした計画を持つ必要があると考えるがどうか。

政策部長) 指摘の通り市政のデジタル化を一層進展させていく必要があると認識。デジタル化推進の方針を定めた上で、デジタル化推進計画を策定、デジタル技術を活かした行政サービス提供等を図りスマート自治体を目指して参る。

その他：市内経済、指定管理者につき質問。

障害者のワクチン接種優先順位に位置付けよ

◆障害者のGH入所の65歳以上には医師が施設に出向きワクチンを接種するが、65歳未満の入居者全員にも接種をした方が合理的である。

答) 65歳未満への接種分は供給されていない。今は高齢者のみの施設接種だ。厚労省の通知文に基づき精神、知的障害者等の対象者は次の優先順位の接種に向け協議していきたいと考える。

皆) 障害特性によっては自宅での隔離療養が難しいこともある。優先的に接種できるように！

◆第2次男女平等推進行動計画の施策の更なる推進は「SDGS 5」ジェンダー平等の視点に合致している。皆) 施政方針では「あらゆる差別をなくす宣言」とあるが、宣言を議決事件とせよ。

答) コロナ禍等で差別人権侵害などの現状を踏まえ宣言を制定し、互いを尊重する意識の醸成に向けた啓発を図る。皆) 何が差別なのか共通認識も必要で大事。具体的な取り組みも求める。

皆) 性的マイノリティに関して職員研修の重点課題に位置づけ、ロールプレイングの手法を取り入れた研修も実施せよ。答) 重要な視点であり進め方を考える。皆) 職員はLGBTQの理解者、支援者＝「アライ」(同盟)の立場での業務を。

◆高齢者等見守り協定締結事業者の中に、連絡先の「地域包括支援センター」を知らないところがあった。事業者へのフォローを行うことや、H26に締結した協定自体の見直しも必要では？

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



答) 当該エリアの地域包括支援センターとの組み合わせの機会を設けるなど、対応を考えていく。

皆) 認知症サポーター講座のオンライン実施を。

答) 多くの方の受講が可能だ。導入を検討する。

◆生ごみを回収する拠点を更に拡大し、「生ごみたい肥」は全地域で配布できるような工夫を。

答) 拠点の拡大は検討する。公共施設での資源回収の際「生ごみたい肥」を配布し啓発も行う。

◆情報オープナーの庁議記録が半年配架されていなかった。(4月19日時点) 仕事の在り方として適切か？答) 適時配架できるよう努める。